

伊勢原中学校の総合的な学習の時間を支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平2陸尉）は、11月12日（水）、伊勢原市立伊勢原中学校の2年生8名に対し、総合的な学習の時間の一環として行われた「高等工科大学職場体験」を支援した。

体験は、駐屯地及び高等工科大学の概要説明の後、基本教練、救急法、ロープの結束訓練が行われ、救急法では、いざという時にAEDを使用できるよう真剣に取り組んでいた。指導した隊員の興味を沸かせる指導に大いに盛り上がる場面もあり、最後は名残惜しうに駐屯地を後にした。

平塚地域事務所は、「今後も、総合的な学習の時間を積極的に支援し、志願者の獲得につなげたい」としている。



基本教練の様子

2校合同の総合的な学習の時間を支援

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、11月13日（木）、座間駐屯地において実施された、小田原市立千代中学校（2年生11名）及び開成町立文命中学校（同13名）の総合的な学習の時間を支援した。

学習では、CRFの概要説明、資料館見学、6人用天幕の展張、体験喫食及び最新の防弾チョッキの試着体験が行われ、全員、真剣に取り組んでいた。参加した生徒からは、「テントを立てたり、防弾チョッキの試着など、体験型の学習がとても印象に残った」という感想が多数聞かれた。

小田原地域事務所は、「今後も、総合的な学習の時間を積極的に支援し、将来の自衛官募集につなげていきたい」としている。



6人用天幕展張体験



CRF研修

あやせ産業まつりで募集広報

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、11月16日（日）、綾瀬市民文化センターで開催された「あやせ産業まつり」に広報ブースを出展し、募集広報を行った。

広報ブースでは、高等工科大学の制度説明をはじめ、子供用迷彩服の試着と1/2トラック（パジェロ）の展示を行った。ブースを訪れた方から、「他校と併願は可能か?」、「自衛隊の勉強ってどんなことをするのか?」などの質問が寄せられた。また、迷彩服姿で1/2トラックに乗った子供を写真に収めようとする家族で大いに賑わった。

厚木募集案内所は、「今後も、幅広い世代に自衛隊をPRしていく」としている。



操縦席に乗ろうとするチビっ子達